

SHIFT AI WEBINAR — GAS入門④

Discordに自動で 通知が届くようにする60分

Webhookを覚える／今日も「見て学ぶ」回です



けいたろう

業務自動化エキスパート

本シリーズについて

01

月2回・年内全10回

GAS入門シリーズ。毎回ちがう「自動化の型」を1つずつ覚えていきます。

02

単発参加OK

各回は独立した内容。第1～3回に出ていなくても、今日だけで完結します。

03

今日は第4回

テーマは「Webhook」。GASから**外のサービス**へ送る、初めての回です。

Discordの準備がまだでも大丈夫——今日は見るだけでOK

今日の進め方

今日は——

わたしが実際に作るところを 見ていただく回です

コードと手順書は、いまチャットに貼ったURLにぜんぶあります。一緒にやりたい方はそこから。
追いつけなくて大丈夫。ご自身の実装は後日でかまいません。

途中で4回、「ここまで理解できましたか？」と聞きます——数字を1つ打つだけ

チャット・リアクション、大歓迎です

01

なんでもチャットへ

気になったこと、聞き逃したこと、どんなことでも気軽にどうぞ。

02

理解チェックは数字だけ

1=OK／2=なんとなく／3=置いていかれた。文章にしなくて大丈夫です。

03

アーカイブがあります

あとから見返せます。その場で全部わからなくて大丈夫です。

チャットの質問はセクションの切れ目で拾います

自己紹介



けいたろう

業務自動化エキスパート／書籍著者。

GoogleのツールとGAS（Google Apps Script）で「手作業をなくす」業務自動化をテーマに、セミナー登壇や書籍の執筆をしています。

本シリーズでは、毎回1時間で自動化の型を1つずつお見せします。



PART 1

今日の前提 と Webhook

用意するもの、そして今日いちばん大事な言葉を1つ（7分）

用意するもの／要らないもの

必要なもの

- **Googleアカウント**（Gmailが使えていればOK）
- **Discordアカウント**（無料・ブラウザでOK）
- Discordの**Webhook URL**（取り方は次の次のページ）

要らないもの

- インストール作業
- クレジットカード・課金
- プログラミングの経験
- **第1～3回の参加**

Discordがまだ無い方も見るだけで大丈夫——手順書に取り方を全部書いています

Webhookとは？

Webhook（ウェブフック）＝

**「ここに文章を投げれば、このチャンネルに投稿される」
専用のURL**

合言葉付きの**投函口**だと思ってください。投函口のURLを知っていれば、誰でも・どこからでも投稿できます。

だから**URLは人に見せない**。今日わたしも、貼るときは画面を隠します。

今日覚える言葉はこれ1つ——Webhook＝合言葉付きの投函口

Webhook URLの取り方（5クリック）

1 練習用サーバーを作る

左の「+」→「オリジナルの作成」→「自分と友達のため」。自分だけのサーバーでOK

2 チャンネルの ⚙ を開く

通知を届けたいチャンネル名の横の歯車

3 連携サービス → ウェブフック

左メニューの「連携サービス」の中にあります

4 「新しいウェブフック」

名前を付けて（例: 予定お知らせ）、投稿先チャンネルを確認

5 「ウェブフックURLをコピー」

<https://discord.com/api/webhooks/...> で始まる長いURLがコピーされます

迷うのは「連携サービス」の中——手順書のステップ0に同じ手順があります

CHECK 1 / 4

ここまで理解できましたか？

ここまでの3行

- 今日は**見る回**。コードと手順書はチャットのURLにある
- **Webhook=合言葉付きの投函口**（専用URL）
- URLはDiscordの「連携サービス → ウェブフック」で取る。**人に見せない**

チャットに数字を1つ

- 1 OK、進んで大丈夫**
- 2 なんとなく**
聞いていればついていける
- 3 置いていかれた**
もう一度だけ説明してほしい

10秒待ちます。3が多ければ、言い方を変えてもう一度。多数決で先に進みます。

PART 2

GAS超入門

3分だけ。毎回やる定番パートです（前回参加の方は復習）

GASとは？——今日は「外へ送れる」を足します

01

Googleと直結

カレンダー・Gmail・スプレッドシートを、面倒な認証なしにそのまま操作できます。

02

トリガーで自動実行

「時刻が来たら」「フォームが届いたら」——PCを開いていなくても動きます（第1～3回）。

03

外のサービスへも送れる

URLに向かって文章を投げられます。
Discord・Slack・LINE——今日はここ。

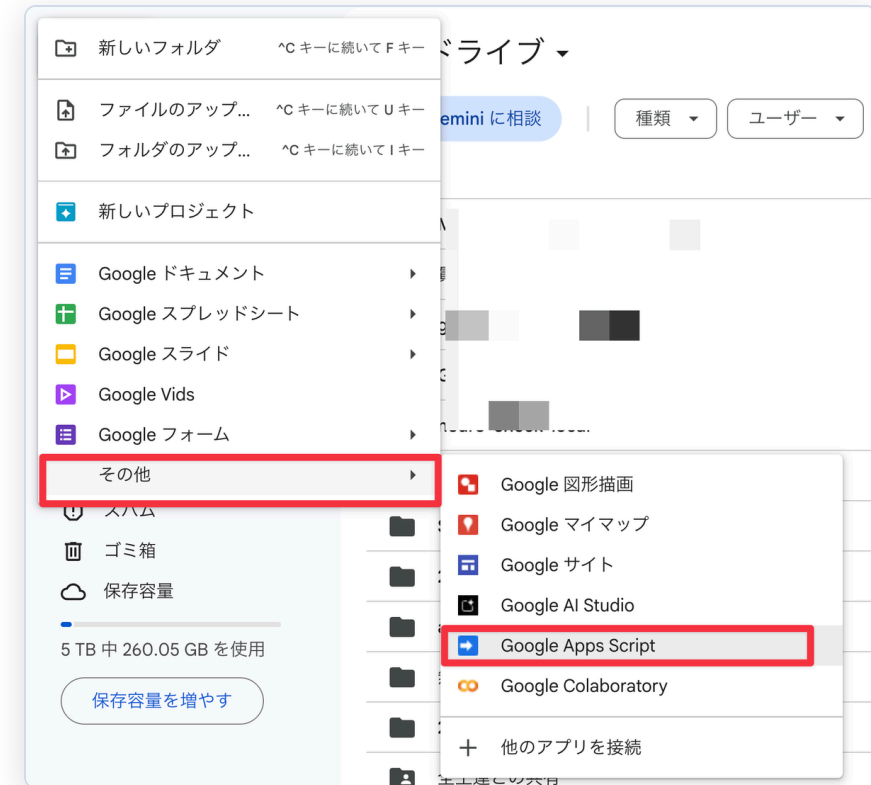
今日もスプレッドシートは使いません——**ドライブから単体で作ります**（第3回と同じ）

HOW TO OPEN

エディタの開き方

ドライブから3クリックで開きます。

- **drive.google.com** を開く
- 左上の **+新規** → **その他**
- **Google Apps Script** を選ぶ
- 無いときは「その他」 → 「**アプリを追加**」



迷うのは「**その他**」の中——ここさえ分かれば大丈夫

PART 3

今日作るもの

仕組みを1枚の図で。動くところは実演で初めてお見せします（5分）

今日作るもの

毎朝7時——

今日の予定がまとめて Discordに届く

第3回では同じものをメールに届けました。今日は送り先だけをDiscordに変えます。

チームのチャンネルに流せば、全員が朝いちで同じ予定を見られます。

まず「こんにちは」を1回送るところから始めます

仕組みの全体像

やっていることは、たった3つです（第3回と最後だけ違います）

TRIGGER

毎朝7時に起動

時間主導トリガーが、決まった時刻にスクリプトを呼び出します。

CALENDAR

今日の予定を取る

カレンダーから、その日の予定をまとめて取得します。

WEBHOOK

Discordへ投げる

文章をJSONに包んで、Webhook URLへPOSTします。これだけ。

起動する・取ってくる・投げる——今日の新顔は3つ目だけ

シリーズの地図——今日は「どこへ送るか」の型

第1～3回は「動くきっかけ」を覚えました。今日から「送り先」を増やします

回	覚える型	中身
第1回	onFormSubmit	フォームに回答が届いたら動く
第2回	onOpen	スプレッドシートを開いたら動く
第3回	時間主導トリガー	決まった時刻に動く
第4回（今日）	Webhook	外のサービスへ送る——Discord。第5回Slack・第6回LINEも同じ書き方

今日の型を覚えると、**送り先を変えるだけで次の2回もできる**

CHECK 2 / 4

ここまで理解できましたか？

ここまでの3行

- 作るのは「毎朝、今日の予定がDiscordに届く」ツール
- やることは**起動する・取ってくる・投げる**の3つ
- 今日の新顔は3つ目の**Webhook**へ**投げる**だけ

チャットに数字を1つ

1 OK、実演に進んで大丈夫

2 **なんとなく**
動くところを見れば分かりそう

3 **置いていかれた**
図をもう一度

3が多ければ、前の図を指しながら「送るだけです」と言い直します。

4

PART 4

ここから実演します

2ステップ・20分。見ているだけでOKです

STEP 1

ステップ1：まず「こんにちは」を1回送る

sendHello → sendToDiscord — URLにJSONをPOSTするだけ `code.gs`

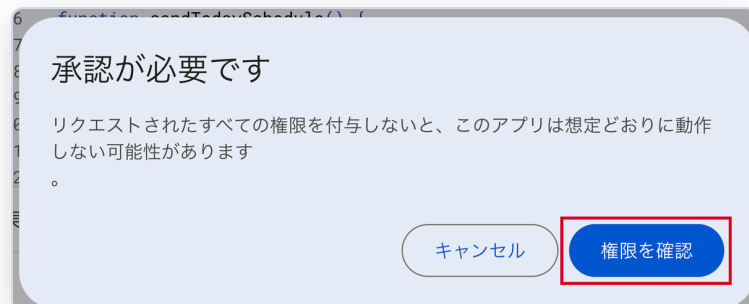
```
const WEBHOOK_URL = ' (コピーしたURL) ';  
function sendHello() {  
  sendToDiscord('こんにちは！GASからの初投稿です');  
}  
function sendToDiscord(text) {  
  UrlFetchApp.fetch(WEBHOOK_URL, { // ① このURLに  
    method: 'post', // ③ POSTで  
    contentType: 'application/json',  
    payload: JSON.stringify(  
      { content: text } // ② この文章を  
    )  
  });  
}
```

- **UrlFetchApp.fetch()** = URLに向かって送る部品
- 送る中身は **{ content: "文章" }** の1行だけ
- Discordは**これを受け取るとチャンネルに投稿**してくれる
- **URLを貼るとき、画面を隠します**（人に見せない）

いきなり自動化しない——まず**手で1回**送って、届くのを見る

ここで必ず一度止まります

1 「権限を確認」



2 左下の「詳細」



3 中身を見て許可

無題のプロジェクト がアクセスできる情報を選択してください

☒ すべて選択

 Gmail のすべてのメールの閲覧、作成、送信、完全な削除 です。 [アクセスの詳細を表示](#) ☒

 Google カレンダーを使用してアクセスできるすべてのカレンダーの表示、編集、共有、完全な削除 です。 [アクセスの詳細を表示](#) ☒

 自分がいないときにこのアプリケーションを実行できるようにします です。 [アクセスの詳細を表示](#) ☒

今日は「外部サービスへの接続」の許可が出ます——自作コードへの許可、それだけです

CHECK 3 / 4

ここまで理解できましたか？

ここまでの3行

- コードを貼って、**Webhook URLを1か所**入れた
- ▶実行 → 承認ダイアログを「**詳細**」→「**移動**」→「**許可**」で通した
- Discordに「**こんにちは**」が届いた——これが今日の核

チャットに数字を1つ

- 1 OK、次のステップへ**
- 2 なんとなく**
手順書があれば自分でもできそう
- 3 置いていかれた**
承認のところをもう一度

3が多ければ、承認ダイアログと「届いた」画面だけをもう一度ゆっくり見せます。

STEP 2

ステップ2：毎朝の予定を、Discordへ

送り先を Gmail → Discord に変えただけ

code.gs

```
function sendTodayScheduleToDiscord() {  
  const today = new Date();  
  const events = CalendarApp.getDefaultCalendar()  
    .getEventsForDay(today);           // 今日の予定を取る  
  sendToDiscord(                        // ← ステップ1の部品  
    buildMessage(today, events));  
}  
  
function createDailyTrigger() {  
  deleteDailyTrigger();                // 二重登録を防ぐ  
  ScriptApp.newTrigger('sendTodayScheduleToDiscord')  
    .timeBased().atHour(7)  
    .everyDays(1).create();            // 毎日7時台  
}
```

- 予定を取るのは第3回と**まったく同じ**
- 最後の1行だけ **sendToDiscord()** に差し替え
- **createDailyTrigger** は**1回だけ**実行すればOK
- これで明日の朝から、Discordに勝手に届く

部品を1つ差し替えるだけで、送り先が変わる——これがWebhookの型

動いているかの確認と、止め方（2通り）

左メニューの「トリガー（時計のアイコン）」がコントロールパネルです。

- **確認**: sendTodayScheduleToDiscord の行が1件あればON ／ **止める①**: 「:」 → 「トリガーを削除」
- **止める②**: Discord側で **「ウェブフックを削除」** —— URLが漏れたときはこちら。 **時刻は分単位で指定できません**（7時～8時のあいだ）



GAS側でもDiscord側でも止められる——戻せると分かれば安心して試せる

CHECK 4 / 4

ここまで理解できましたか？

ここまでの3行

- 予定を取る部分は第3回と同じ。**送る部品だけ差し替えた**
- **createDailyTrigger** を**1回実行**すれば、毎朝動く
- 止め方は**GAS側・Discord側の2通り**

チャットに数字を1つ

- 1 OK、流れはつかめた**
- 2 なんとなく**
後日、手順書を見ながらやってみる
- 3 置いていかれた**
トリガーのところをもう一度

3が多ければ、トリガー画面を見せて「1回実行しただけ」を強調します。ここが最後のチェックです。

うまく動かないとき トップ3

症状	よくある原因	直し方
「URLを貼ってください」と出る	URLを貼り替えていない／引用符を消した	'https://discord.com/api/webhooks/...'の形になっているか確認
実行数に 404 / 401	URLが途中で欠けている／Discord側で削除済み	もう一度「ウェブフックURLをコピー」して貼り直す
「こんにちは」は届くのに予定が届かない	カレンダーの承認が未完了／別のカレンダー	sendTodayScheduleToDiscord をもう一度実行し、承認を最後まで進める

ほとんどはこの3つ——手順書にも同じ表を載せています

この型でできること

01

チャンネルを送り分ける

Webhook URLを増やすだけ。「営業」「総務」に別々の予定を流せます。

02

AIに要約させてから送る

予定の一覧をGeminiに渡して「今日の一言」を付けてから投稿。ただ通知するだけで終わらない使い方です。

03

Slack・LINEにも送る

「URLにJSONをPOST」は同じ型。次回・第5回はSlack、第6回はLINEに送り先を変えます。

送り先を変えるだけ——今日の型は、これから2回続けて使います

まとめ／次回・Q&A

今日の持ち帰りは「外へ送る=Webhook」という型

TAKEAWAY 01

Webhook=合言葉付きの投函口。URL
にJSONをPOSTするだけ

TAKEAWAY 02

コードと手順書は配布します。実装は後
日でOK

NEXT

次回・第5回はSlack連携。今日と同じ型
で、送り先だけ変えます

次回の日程は、SHIFT AI会員サイトのイベントページでご案内します。

本日はありがとうございました。質問はチャットへどうぞ——答えきれない分は次回の冒頭で拾います。